



村はひとつ 学校はひとつ 願いはひとつ 地域コミュニティを核とした 天栄だからできる少人数教育

2023.6.16



教育委員会だより No.143

愛村心（I尊心）を育む 天栄村！

発行：天栄村教育委員会

特別支援教育研修会

6月5日（月）、村内幼・小・中学校の特別支援教育に中心になって取り組んでいる先生方と支援員さんを対象に、福島県教育庁県中教育事務所指導主事 黒田 樹先生と、須賀川支援学校教諭 根本 正樹先生を講師としてお招きし研修会を行いました。

講話では「特別な支援を必要とする子どもへの支援の在り方」をテーマとして、特別支援教育の理念や福島県における特別支援教育の実態、特別な支援を要する子どもたちへの対応等についてご指導・ご助言をいただきました。特に、支援員と教員の連携の在り方について、具体的に説明していただきました。

その後、グループ協議を行い、各幼稚園、小中学校の取組について情報共有を行いました。

インクルーシブ（共生）教育を推進していくために、今後も特別支援教育への理解を深められるように研修を実施していきます。

学校運営協議会（地域学校協働本部）開催

5月24日（水）、第1回の学校運営協議会を開催しました。今年度の組織と活動内容を説明し、各小中学校の取り組み内容と要望について協議しました。

今年度も、7月と9月に委員による学校訪問を予定しています。



プールでの学習について



今年度より、広戸小、大里小、牧本小が矢吹町温水プールにおいて合同水泳学習を行います。なお、湯本小、天栄中は今年度も自校のプールで水泳学習を実施します。

授業研究会 パートナーシップ事業 つなぐ教育

6月12日（月）、大里小学校と牧本小学校において、県から指定を受けている「小中英語パートナーシップ事業」と本村の各幼稚園、各小中学校の連携を強めるために実施している「つなぐ教育」に係る外国語科の授業研究会が行われました。

○ 大里小学校 第5学年「What do you want to study?」
指導者：伊藤大輔教頭先生、Jacklyn 先生（ALT）

6人の子どもたちは、名前、生年月日、誕生日に欲しい物が書かれた情報カードを基に、英語を用いて質問したり、それに答えたりしていました。どの子どもも英語でコミュニケーションをとることに臆することなく、生き生きと活動に取り組んでいました。

○ 牧本小、湯本小 第6学年「How is your school life?」
指導者：渡邊美咲先生、Joyce 先生（ALT）

子どもたちは、外国の方に扮した3名の先生に対し、グループで協力しながら起きる時間などの日常生活に関わることについて英語で伝えたり尋ねたりしていました。どうすれば伝わるのかを真剣に考えながら、楽しく学習に取り組んでいました。

【令和5年度教科書展示会開催中】

文化の森てんえいにて、令和5年度教科書展示会を開催しています。展示しているのは小・中学校の教科書になります。

保護者、地域の方も閲覧することができますのでご来館ください。

期間：6/14～6/27

時間：午前9時～午後4時30分
※最終日は午後4時まで



生涯学習事業

村民一人一人が自己の能力を高め、生きがいを持って豊かで充実した人生を送れるよう、誰もがいつでも自由に学習機会を選択していけるよう、必要な学習環境を整え、村民の主体的な学習活動を支援出来るよう取り組んでいます。

○寿大学開講式

5月29日(月)令和5年度の高齢者学級 寿大学開講式が村生涯学習センターで行われました。今年度は新たに4名の受講生が加わり、27名の受講生にご参加いただきました。

式では長場教育長のあいさつとアトラクションが行われ、「楽踊集団 花吹流寿々蘭会」による踊りと「椿百合雄&シルバースターズ」による懐かしの歌謡ショーが披露されました。会場の受講生も青春の歌を口ずさみながら、楽しんで参加していました。



○てんえいアクティビティクラブ×湯本しぜん塾

6月3日(土) てんえいアクティビティクラブと湯本しぜん塾の共催事業として、小学生31名が参加し、郡山市の郡山自然の家において様々な体験活動を行いました。

野外でのフィールドアドベンチャーやアーチェリー、フリスビーゴルフなどの活動の他、昼食は野外炊飯により各班ごとに協力してカレーライスを作り、火おこしに苦労しながら初めて飯ごうで炊いたごはんカレーをたっぷりかけて、おいしそうに頬ばっていました。



○香道入門教室

6月8日(木)今年度のでんえい村民教室の第1弾として、「香道入門教室」が村生涯学習センターで行われました。講師の藤田直一先生から室町時代から続く香道の歴史や概要について説明をいただき、実際に3種類の香木を3回、計9回その香りを聞き(※香道では匂いを嗅ぐことを聞くという)、誰が正解数が多いかを競いました。参加者は神経を研ぎ澄ませながら匂いを聞きわけ、それぞれに初めての体験を楽しんでいました。

